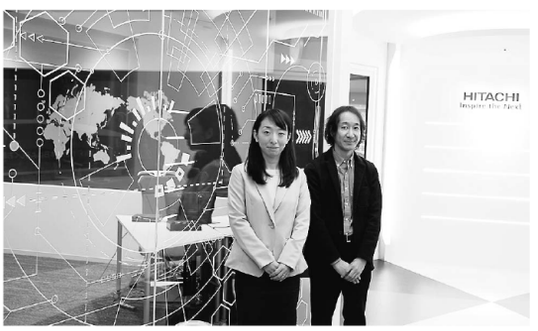
電波新聞

日立ソリューションズ・クリエイト

セキュリティ人財育成を支援

（出所：日立ソリューションズ・クリエイト）

日立ソリューションズ・クリエイト（東京都品川区、竹田広光社長）は、企業のセキュリティ人財育成を支援する目的で、セキュリティ専任技術者が講師を務めるサイバーセキュリティのオンライントレーニングサービスを始めた。日々セキュリティ対応をする同社の高度なセキュリティ技術者が講師を務める動画だけではなく、質疑応答ができるライブ中継も用意している。



講師を務める平岡セキュリティスペシャリスト（右）と白坂氏

新サービス「サイバーセキュリティトレーニング」は、サイバーセキュリティの知識をゼロから学べる独自のオンライン研修サービス。今回は第1弾として基礎知識が学べる入門から、ユーザー企業の情報システム部門などでセキュリティの基本的な知識や技能を習得できる初級までをメニュー化した。

オンライントレーニングサービスを開始

質疑応答ができるライブ中継も用意

サイバー攻撃は高度化・巧妙化しており、企業はセキュリティ対策への対応に追われている。半面で「業務が多忙でトレーニングする時間がない、適した教材などがないとい った声も多かった」（デジタルトランスフォーメーション事業部）という。今回、こうした声に応え、空いた時間に学べるだけでなくライブ中継で質疑応答もできるサービスを体系化した。

講義の画面イメージ

同社は日立製作所、日立ソリューションズと共にセキュリティ支援を強化している。19年12月には高度なセキュリティ人財とサイバーセキュリティ研究を目的に3社で「日立サイバーセキュリティセンター」を開設。実際のセキュリティ対応や教育を進めノウハウを蓄積している。

国際的な認定ホワイトハッカー「CEH」の資格を持つ高度なセキュリティ専任技術者も7人いるなど、セキュリティの技術力は高い。今回のトレーニングは、同社ホワイトハッカーのうち経験が豊富な5人が講師を務める。

動画の講義は、講師による基礎知識の講座、映像によるマルウエアやサイバー攻撃の疑似体験、日立グループのセキュリティ専門技術者や研究者、ホワイトハッカーらによる最新情報の対談の3部構成。講義は自由に聴講できる。

講師を務めるホワイトハッカー資格を持つプラットフォームソリューション事業部セキュリティサービス部時田輝氏は「入門編では身近な脅威について学べるようにし、初級編では基本的なセキュリティ対策の知識を学べるようにしている」と話す。

より学習効果を高める

講義を聴いた後にはライブ中継で直接質疑応答ができるようにしたことも特徴だ。「普段セキュリティ対応している講師陣が質疑に対応する。不明点などを直接質問できるため、より学習効果を高めやすい」（講師のセキュリティサービス部白坂理佳氏）とみる。

コースは入門編（情報セキュリティ対策）1コース、初級編（マルウエア対策、ぜい弱性対策、サイバー攻撃対策）の3コースを用意。いずれもライブ質疑応答セットで1講座2万5千円（税別）となる。12月1日から提供を始め、23年度までに累計2億円（1万契約）を目指す。

トレーニングサービスを取りまとめ、講師も務めるデジタルトランスフォーメーション事業部・平岡豊セキュリティスペシャリストは「自分のペースでの受講、攻撃の疑似体験、専門家の生の声という三つにこだわった。より深く脅威について学んでほしい」と話している。

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。